



地域総合支援センター

在籍職員 96 名中、39 名が社会福祉士です



NO.

01 業務内容

福祉まるごと相談支援

介護保険の相談、生活上の困りごと、福祉に関する相談、介護予防に関する相談 権利擁護に関する相談、地域の支え合い、仕組みづくりの相談

介護予防の応援

介護予防教室の開催、要介護認定の相談や申請受付、介護保険サービス利用の支援、認知症に関する相談や認知症予防の啓発

権利擁護を守る

高齢者虐待の対応、成年後見などの利用援助、消費者被害の予防・相談

地域で支え合うしくみづくりの支援

支え合いに関する学習会開催、地域の情報の収集や発信、近所の居場所や通い場づくりの支援、地域で支え合う体制づくりの支援

NO.

02 業務のやりがい

○様々な困りごとに対し、多職種（社会福祉士・保健師・看護師・主任介護支援専門員・生活支援コーディネーター・介護支援専門員）が状況に応じて専門性を発揮し、相互に協力しながら問題解決に向け支援を行える。職種の専門性＋自分らしさ＋経験が生かせる職場でチームワーク向上のため努力するところも魅力の一つです

○地域の居場所作りの支援で、独居で生活に張りがないと話していた方が、楽しく自主活動の体操教室に参加する様子を見ると、こちらまで嬉しくなります

○他職種と連携する事により幅広い知識が習得できます

○福利厚生がしっかりしており、自分自身の健康状態を整えながら仕事ができます

NO.

03 業務の課題

○周辺住民の認知症に対する偏見や思い込みにより高齢者が孤立してしまう場合があり、正しい知識の啓発が必要

○生きづらさの背景に8050問題やごみ屋敷、低所得、無保険など問題が複合多問題となっている

○超高齢化社会の現在、健康寿命を伸ばすため健康への関心や介護予防の知識と実践が必要

NO.

04 求める人物像

○チームワークを大切に考えることができ、助け合って仕事ができる人

○自分の意見も人の意見も大事にできる人

○人と接することが好きな人



地域総合支援センターの皆さんのある1日 その①



3年目

(新卒採用)

社会
福祉士

AM

82歳独居女性Aさんの娘さんより、本日Aさんに警察と名乗る人から電話があり、銀行口座が悪用されているので通帳とカード、暗証番号を教えてもらいたいと言われた。午後から自宅に来ると言われ本人はパニックになっている。娘さんは自宅に来たがどうしたらいいか？(想い)

最近多い詐欺事件か？落ち着いて対応する必要がある。被害に遭わないように警察に伝えるのがいいと思うが一度センター長と地区担当で情報共有し、早急に対応を検討しよう。まずは娘さんに訪問者が来ても出ないよう伝えておく必要があるな。

相談・共有

社会福祉士が受けた相談に対して、センター内で情報共有と援助方針の会議を開催。保健師は午後から訪問があるため、社会福祉士と主任介護支援専門員で午後Aさん宅に自宅訪問し対応することにする。娘さんより警察の生活安全課に連絡され同時刻に自宅訪問することが決まる。

PM

AM相談があった方の家に主任介護支援専門員と訪問する。警察の車両があったためか予定時刻に訪問者は来なかった。話を伺うと要介護1で担当CMがいるとの事。CMとの情報共有に同意いただく。

最近詐欺の相談が増えているなあ。注意喚起のためCMさん対象に研修会を企画しよう



5年目

(中途採用)

保健師

AM

妻より夫の物忘れが気になると来所され相談室で話を伺う。夫婦2人暮らし、夫が最近やかんでお湯を沸かしたまま外出しようとしたり、友人との囲碁の約束を忘れて電話がかかってくるのがあって気になるとのこと。(想い)

症状としては認知症の初期段階のよう。もう少し状況をお聞きしてみよう。様子を見て市の行っている認知症早期支援事業や認知症チェックシートについてお知らせしてみようか…

PM

午前中の方はまず認知症チェックシートを行い、結果が出でから再度相談することになった。昼からは先週認知症カフェを紹介した方のご様子を見に訪問予定。ご本人が気分転換できご家族の負担も少し減るといいなあ。

AM

在宅のCMより民生児童委員さんと顔の見える関係を深めれることのできる交流会があればな…との声を聞いた。

(想い)

民生児童委員さんって、地域福祉の要だと思う。在宅のCMや施設の相談員さんともっとつながれば、情報交換もできるし、相談しやすくなるんじゃないかな。

PM

社会福祉士と訪問。帰ってきた後Aさんの担当CMと電話で情報共有を行う。また他の担当の方にも注意喚起してもらうよう説明する。社会福祉士と協力してまずはCM・民生児童委員さん対象に詐欺被害予防についての研修会を企画しよう。



7年目

(中途採用)

主任介護
支援専門員

地域総合支援センターの皆さんのある1日 その②

AM



1年目
(中途採用)

介護支援
専門員

働き始めて3ヶ月。まだまだ地域の社会資源について知らないことも多い。昨日モニタリング訪問したBさんより、近所に気軽に運動など出来る場所はないか質問された。

(想い)

サロンや自主活動について調べて紹介しよう。まずは生活支援コーディネーターさんに色々と相談してみよう。

相談・共有

介護支援専門員から生活支援コーディネーターに対し、サロンや自主活動などの情報を知りたいと相談あり。何件か候補になるような所を紹介。

PM

さすが生活支援コーディネーターさん！たくさん情報があり参加人数・雰囲気などもアドバイスしてもらえた。地域住民の居場所づくりも大切とのこと。さっそくBさん宅に訪問調整し、お伝えしよう。

AM



4年目
(新卒採用)

生活支援
コーディネーター

今日は小学校でオレンジサポーター養成講座を開催する。4年生のこどもさん80人に「認知症について」知ってもらいオレンジサポーターになってもらう。講師はキャラバンメイトとシルバーサポーターさんで構成している。

(想い)

こどもの頃から認知症の方に偏見のない正しい知識をもってもらい、高齢の方を優しく見守ることが出来る、住みやすい町づくりを一緒につくっていきたい。講師の方も熱心なのでこちらも気合いが入るなあ。

PM

養成講座は無事終了。こどもたちも講師陣も打ち解けていい雰囲気で講座が出来た。アンケートをまとめて市へ提出しよう。介護支援専門員より地域のサロン・自主活動を知りたいと相談が入る。初めての参加は緊張するので同行できることも伝える。



医療職による介護予防教室
人生会議（ACP）講座の様子



認知症サポーター養成講座の様子
体育館で小学生対象に開催